



こどもたちの願いからスタート！ ウサギ小屋リニューアル

のぞみが丘小学校児童の「古いウサギ小屋をきれいにしたい」という声を受け、児童や地域住民、父親の会、学校、のぞみがおか生楽館が協力して改修しました。

看板は児童からイラスト案を募集し、飼育委員会が選定。完成お披露目会では、多くの児童が新しいウサギ小屋を見て喜びました。

参加した池上愛莉さんは「みんなできれいにできて嬉しい。大切にウサギを飼育したい」と話し、企画した父親の会OBの酒井さんは「協力すれば希望は実現できると、こどもたちが体感できたのでは」と語りました。



三国中学校鉄板部、大活躍！

のぞみいきいきアンビシャス広場で活動している三国中学校鉄板部が、7月18日に開催された美鈴が丘夏祭りで、焼きそばとかき氷を作って販売しました。事前に2回の研修を行い、POP作りや商品リサーチなど準備を重ねて当日を迎えました。

当日は長蛇の列ができる大盛況！大きな鉄板で本格的に焼きそばを焼いたり大きな機械で氷を削ったりしながら、声を枯らして呼び込み、販売を頑張りました。3年間活動を続けた生徒は「難しかったけれど、とても楽しかった」と達成感に満ちた笑顔を見せてくれました。



笹と、願いと、学生と。

月遅れの七夕である8月7日に行われる祭りに向け、8月4日、大崎区の七夕神社で笹の飾り付け作業が行われました。

七夕神社には、毎年全国から30万枚以上の短冊が届きます。短冊は境内に飾られ、夏祭りの後にはおはらいをして焚き上げられます。枚数が多く、飾り付けも大変な作業です。

今年は地元の人に加え、三井高校と福岡女学院大学の学生もボランティアとして参加し、約130人で作業しました。炎天下での作業でしたが、参加者は短冊に込められた願いを一枚一枚見ながら、それらが叶うよう丁寧に笹に結び付けていました。

